東　輝

みどり市立大間々東中学校
学　校　通　信
令和４年３月１１日　第２０号

ご卒業おめでとうございます

本日、第３８回目の卒業式を終えることができました。しかし、今年度も感染症の影響があり、保護者の皆様の入場制限や在校生のリモート参加など、縮小実施とさせていただいたこともありますので、卒業生に向けた最後の餞の言葉（式辞）の一部を、改めて以下に掲載いたします。保護者の皆様、家庭・地域の皆様の３年間の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

中学校の全課程を修了し、今ここに卒業証書を手にした８５名の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。本日、皆さんは旅立ちの時を迎え、一人一人が立派な態度で卒業証書を受け取ってくれました。

その卒業証書には、たくさんの意味が込められています。

そこにはあなたの名前が書かれています。この３年間の中で皆さんは何度自分の名前を呼ばれてきたでしょうか。何気ない日常会話の中はもちろん、授業や学校行事、部活動など、色々な状況の中であなたの名前が呼ばれました。先ほど、担任の先生も心を込めて皆さんの名前を呼びました。でも、先生や友達が中学生としての皆さんの名前を呼ぶのは今日が最後です。様々な願いが込められている名前。卒業証書に一人一人の名前が書いてあるのは、世界に一人しかいないあなたが、多くの人と触れ合い、共に歩んできた証であり、懸命に生きてきた証です。

名前の次には誕生日が書かれています。そこに書かれている日にあなたは生まれました。その日、家族や親戚の人たちはあなたが生まれたことを、どれほど喜んでくれたことでしょう。その日から今日まで色々なことがあったと思います。

その中で、たくさんの方があなたを助け、守ってくれました。夜泣きをして寝付かない時、ずっと寝ずにあやしてくれた人。勉強や部活で少しでもいい結果が出るよう最後まで励まし続けてくれた人。悪いことをしてしまった時、本気で怒ってくれた人。辛い時、そっと気持ちに寄り添ってくれた人。

あなたにとって大切な人は、いつもあなたの側にいて、あなたを支えてくれました。そして同時に、あなたは誰かを支える人でもあったと思います。あなたが生まれた日から、今日という日まで、そしてこれからも、「人は支え合って生きている」ということを忘れてはならない。卒業証書に誕生日が書かれている意味を、そう捉えることもできると思うのです。

また、卒業証書の真ん中には皆さんが中学校の課程を修了したことが書かれています。それは、教科の学習はもちろんのこと、体育大会、東輝祭、マラソン大会、修学旅行なども含め、たくさんの人と交流する中で、たくさんのことを学んできたという証であり、同時に、次の学びの段階に進むということを意味しています。

卒業証書にはこのようにたくさんの意味が込められています。

世界では、パンデミックと言われる状況が続き、国と国との争いも起こっています。今日は東日本大震災が発生した日でもあります。このように、いつの時代にも困難はつき物です。しかし、私たちは、人々が困っている時こそ、一人でも多くの人が幸せになれるよう、力を合わせ、知恵を働かせる必要があることも知っています。

これから皆さんが生きていく未来がどんな時代になるかは誰にもわかりません。世界は、今、この瞬間も変わり続けています。しかし、どんな状況であったとしても、未来への希望をもち続け、前を向き、自分らしい生き方をするとともに、一人一人が、よりよい社会をつくる力となってほしいと思います。

卒業生の皆さん、いよいよ新たなステージへ旅立つ時が来ました。

私たちに与えられている時間、人生という時間は限られています。その限られた時間を実りあるものにするためには、楽しむという気持ちを忘れないようにしながら、今日という日を大切にするしかありません。

今日という日を豊かな時間にしていく。その積み重ねが、自分の納得のいく人生につながります。

後悔しないように、自分のため、社会のために、思う存分、自分の人生を生きてほしいと思います。

卒業生の皆さんの未来に「豊かな時間」が待っていることを願って、式辞といたします。

令和四年　三月　十一日